※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	財務会計Ⅰ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	新財務会計Ⅰ　新訂版（実教出版）						
副教材等	最新段階式　簿記検定問題集　全商１級会計　改訂版（実教出版） 令和５年度版　全商簿記実務検定　模擬試験問題集１級会計（実教出版） 合格するための本試験問題集　日商簿記２級　2023 年 AW 対策（TAC 出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次において、全商簿記２級の範囲まで完了しているので、１級会計部門の範囲から行う。
家庭学習の習慣化を図り、日々の学習内容の確実な習熟と定着をめざす。
全国商業高等学校協会主催簿記実務検定１級（会計）の資格取得をめざす。
日本商工会議所主催簿記２級（商業簿記）の基本的な内容を学習する。

２　学習の到達目標

財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。

知識および財務諸表を作成する技術を活用して、それぞれの企業の課題を解決するための思考力や判断力を育てる。財務会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上をめざして自ら学び、適切に仕訳や財務分析を主体的に取り組む態度を養う。

全商簿記実務検定１級会計の基本的な知識の習得をめざす。

日本商工会議所主催簿記検定２級（商業簿記）の基本的な知識の習得をめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	企業の実態を反映する財務諸表を作成するための知識を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。 ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ビジネスの諸活動への適切な対応をめざして思考を深め、財務諸表の作成に関する知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	会計に関わる諸活動に関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応をめざして主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	貸借対照表	・流動資産 ・固定資産 ・流動負債 ・固定負債 ・純資産	a:財務会計の意義や制度についての理解を深め、貸借対照表の作成に関する基本的な技術を身につけ、仕訳、計算などを的確に行えるか。 b:表などを作成できるか C:理解できており、意欲的に取り組めているか。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	提出物 授業態度 ワークシート
2学期	損益計算書 連結会計	・営業収益 ・営業費用 ・営業外収益 ・営業外費用 ・特別利益 ・特別損失 ・当期純利益　損失 ・財務分析 ・連結会計 ・日商２級相当の問題演習	a:決算手続きについての理解を深め、損益計算書の作成・財務分析・連結会計の基本的な技術を身につけ、仕訳・計算・財務分析などを的確に行えるか。 b:表などを作成でき、財務分析を行えるか。 c:理解できており、意欲的に取り組めているか。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	提出物 授業態度 ワークシート
3学期	総合演習	・全商簿記実務検定相当の問題演習 ・日商2級(会計)相当の基礎問題演習	a:検定問題に対して与えられた時間内に的確に対応できるか。 b:応用できているか。 c:理解できており、意欲的に取り組めているか。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 確認テスト ワークシート	提出物 授業態度 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度